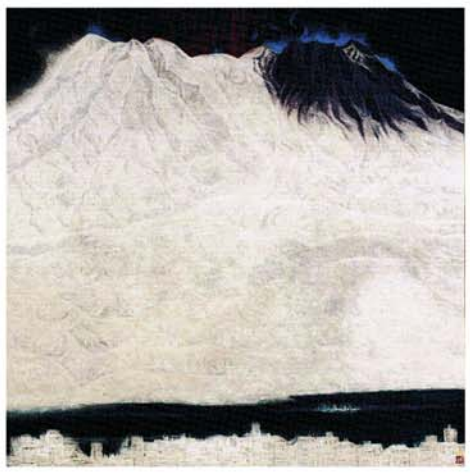
(C)南日本新聞社　無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します

2012年 南日本新聞社の主催事業

南日本新聞社は今年も、多彩なイベントを展開する。開催中の大桜島絵画展「桜島百景　画家たちが見つめた桜島」を皮切りに、美術、音楽、落語、スポーツ、シンポジウムなど、年間を通して県民に夢と笑顔を届ける事業がそろう。

未来開く美、技 多彩に



西山英雄「薩摩雪」1978年（鹿児島市立美術館蔵）

桜島百景　画家たちが見つめた桜島

開催中、2月5日まで

鹿児島市立美術館

九州新幹線全線開業を機に、全国の人々に多彩な表現を味わってもらおうと企画された大桜島絵画展「桜島百景　画家たちが見つめた桜島」は、2月5日（日）まで鹿児島市立美術館で開催中。

鹿児島のシンボル桜島は近代以降、洋画・日本画を問わず、多くの著名な作家たちを魅了してきた。なかでも力強い色彩とタッチの梅原龍三郎による連作や、大画面にモノトーンの色調が印象的な横山操「炎々桜島」と加山又造「煙雲轟々」などは、名作として知られている。

大正大噴火を6枚の連作に仕上げた黒田清輝はじめ和田英作、海老原喜之助ら郷土ゆかりの画家も加えて計31人、約70点を紹介。描き手の目と心と技を通してさまざまな表情をみせる山の姿が堪能できる。

椿昇展

7月13日～9月23日　霧島アートの森

「Moon Walker」Royal festival hall, London2009

アートと社会の関係を問い直す衝撃的な作品で知られる現代美術家による「椿昇展」は7月13日(金)から9月23日(日)まで湧水町の霧島アートの森で。

1953年、京都市生まれ。2001年の横浜トリエンナーレで発表した全長50㍍の巨大バッタ、03年のイラク戦争開戦直後に開催した個展「国連少年」などで話題を呼んだ。

テクノロジーを活用し、地域社会でのアートプロジェクトにも積極的に参加する椿。常識を超えるポップな作品の数々を通して、いまという時代に向き合える展覧会だ。

主な文化・スポーツ行事日程

◇第32回ランニング桜島
　2／26（日）　鹿児島市桜島溶岩ランニングコース
◇第38回鹿児島県ちびっこソフトボール大会
　3／4（日）、11（日）、18（日）鹿児島県立補助競技場ほか7会場
◇第96回二科展
　3／6（火）～20（火）　黎明館
◇第40回鹿児島陶芸展
　4／6（金）～15（日）　黎明館
◇第79回独立展
　4／28（土）～5／6（日）　黎明館
◇第78回東光展
　6／14（木）～24（日）　鹿児島市立美術館
◇第30回南日本女流美術展
　6／15（金）～24（日）　黎明館
◇第42回南日本写真展
　7／3（火）～8（日）　鹿児島市立美術館
◇第31回南日本ジュニアピアノコンクール
　予選　7／21（土）、22（日）、23（月）、24（火）
　本選　8／4（土）、5（日）　みなみホール（予選も）
◇第42回南日本ゴルフ選手権
　出場選考会　南部＝8／7（火）南九州CC、北部＝8／9（木）グリーンヒルCC
　予選　10／30（火）、31（水）溝辺CC
　決勝　11／2（金）溝辺CC
◇第62回南日本書道展
　8／30（木）～9／9（日）　かごしま県民交流センター
◇第5回南日本ジュニア美術展
　9／14（金）～23（日）　鹿児島市立美術館
◇第61回南日本音楽コンクール
　予選　10月上旬　みなみホール
　本選　11／3（土）、4（日）　鹿児島市民文化ホール
◇第67回南日本美術展
　11／10（土）～25（日）　黎明館・鹿児島市立美術館
◇南日本女子ゴルフ選手権2012
　12／5（水）、6（木）　鹿児島高牧CC

イベントの内容、会期、会場などは都合により変更になる場合があります。問い合わせは南日本新聞社事業部＝099(813)5053〈土・日・祝は除く〉

京都 細見美術館　若冲・琳派と雅の世界

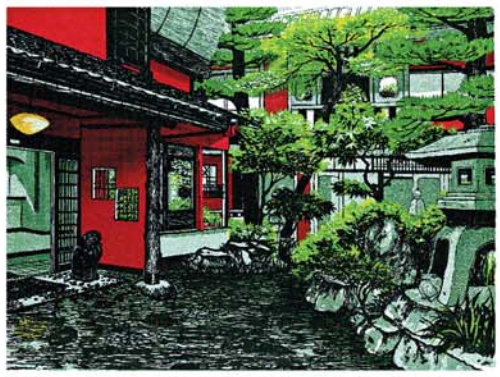
3月28日～5月6日　鹿児島市立美術館

伊藤若冲「鶏図押絵貼屏風」（部分、細見美術館蔵）

九州新幹線全線開業1周年を記念して、京都の細見美術館が所蔵する江戸絵画のスター、伊藤若冲と珠玉の琳派コレクションをそろえる特別企画展「京都細見美術館　若冲・琳派と雅の世界」は3月28日（水）から5月6日（日）まで鹿児島市立美術館で開催。

俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一、鈴木其一といった琳派を代表する作家たちと奇想の絵師・若冲を中心に紹介。洗練された美意識と造形感覚で知られる江戸絵画の魅力を伝えるとともに、雅（みやび）な能装束や七宝など、合わせて約60点を展示する。

近年、特に話題を集める若冲は、卓越した描写力と独創的な画風が特長で、初期の代表作「雪中雄鶏図」や高度な技法を駆使した水墨画も注目の的だ。今回は島根県立美術館所蔵の「鶏図」も特別展示し、異色の天才画家が目指した美の世界に迫る。



「紅楼依緑」2005年（第37回日展特選）©HEEMORY／STEPeast

ジュディ・オング倩玉　木版画の世界

7月14日～8月19日、黎明館

歌手や女優として活躍する一方、木版画家としても高い評価を受けるジュディ・オング＝写真。その作品世界の魅力を紹介する「ジュディ・オング倩玉（せいぎょく）　木版画の世界」は、7月14日（土）から8月19日（日）まで鹿児島市の黎明館で開催。

ジュディは台北生まれ。20代で木版画を始めて以来、30年以上にわたって旺盛な制作活動を続け、「紅楼依緑」で第37回日展の特選を受賞するなど輝かしい実績を残している。故郷・台北はじめハンブルグ、パリ、北京と世界各地でも個展を開き、現在日展会友、白日会正会員。

常に題材に取り上げているのが伝統的な日本家屋。全国の旧家や寺社を自ら取材し、大胆な構図と力強い線、繊細な技巧で次々と大作を発表している。今回は水彩画なども展示、多才な作家の紡ぎ出す美の世界がたっぷりと味わえる。

東西特選落語名人会

5月9日、宝山ホール

三遊亭円楽　桂　文珍　柳亭　市馬　桂　米団治

桂文珍、三遊亭円楽、桂米団治、柳亭市馬という豪華な顔ぶれが鹿児島で初競演する「東西特選落語名人会」は、5月9日（水）午後6時半から鹿児島市の宝山ホールで。

上方からは、独特の時代風刺で笑いを誘う文珍と多彩な活躍で知られる5代目米団治。一方の江戸からは、笑点でおなじみ6代目円楽とテンポの良い語り口が人気の市馬。

芸風は違っても、いずれも落語界の隆盛をリードする脂の乗りきった名人ばかり。それぞれが競い合う高座から、いったいどんな名演が生まれるか。前売り券は2月中旬発売予定。

第59回県下一周駅伝大会

2月25日～29日

53区間588・6㌔をタスキでつなぎ、薩摩路・大隅路に春を呼び込む「鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」は2月25日（土）から29日（水）までの5日間にわたって開かれる。

県内12地区の選手が健脚を競う大会も伝統を重ねて59回目。鹿児島地区の3連覇なるか、それとも他地区が意地を見せるか。沿道の温かい声援が力走を支え、感動のドラマが生まれる。

※運営にあたっては、安全を最重視します。応援は交通事情などに十分注意の上、整然と行ってください。車による伴走はできません。事故防止のためご協力をお願いします。

ウィーン放送交響楽団

3月15日、宝山ホール

音楽の都のやわらかな空気とみずみずしい音色を携えてやって来るウィーン放送交響楽団の演奏会は、3月15日（木）午後7時から鹿児島市の宝山ホールで。

バーンスタイン、ベンデレッキ、ロストロポービチ、サバリッシュら数々の巨匠が育て上げたオーケストラ。2010年、31歳の俊英コルネリウス・マイスターが首席指揮者に就いてからは、古典派から現代音楽までレパートリーがさらに広がっている。

鹿児島公演のプログラムはベートーベン「交響曲第3番　英雄」、ブラームス「交響曲第1番」の大曲2曲を予定。生命力にあふれた演奏が楽しめるはずだ。前売り券発売中。

鹿児島・京都文化フォーラム

28日、みなみホール

石原　光子氏　原口　泉氏　高橋　英一氏　笹岡　隆甫氏

九州新幹線の全線開業でとても身近になった京都。鹿児島とのつながりを「食」の歴史を通してひもとき、未来を語る鹿児島・京都文化フォーラム「京と薩摩・食と歴史～新たな絆を求めて」は、28日（土）午後2時から鹿児島市の南日本新聞会館みなみホールで。

第1部は華道未生流笹岡家元・笹岡隆甫氏の「いけばなパフォーマンス」。第2部では同氏のほか京料理の名店「瓢亭」主人・高橋英一氏、志學館大教授・原口泉氏、石原荘女将・石原光子氏が多彩な食文化について語る。入場無料だが整理券が必要。

若大将 湘南FOREVER

3月10日、鹿児島市民文化ホール

熱いアンコールに応えて再び登場する「加山雄三51stホールコンサートツアー　若大将　湘南FOREVER」は、3月10日（土）午後5時半から鹿児島市民文化ホール第1で。

昨年、芸能生活50周年を記念したコンサートが父・上原謙ゆかりの地の鹿児島で大好評だった加山。一連のツアーで芸術選奨文部科学大臣賞も受賞して、見事に節目の年を飾った。

今回は原点の「湘南」に焦点を当て、自身のヒット曲に加え、サザンオールスターズ、ザ・ワイルドワンズなどの名曲も披露する。永遠の若大将らしいさわやかで明るいステージは必見、必聴だ。前売り券発売中。